

# 週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

## 2024 年度年間聖句

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、  
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」  
(箴言 3 章 6 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時  
祈 禱 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈禱会  
(第3・午後2時)  
●夕の祈禱会  
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準  
協力牧師 堂 本 陽 子  
協力牧師 井 東 焔

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65  
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3  
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3  
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>  
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計  
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

# 3152 2025 年 3 月 30 日

## 礼拝式順序

(受難節第4主日)

司式者 井 殿 準  
奏楽者 伊 東 永 子

前 奏		奏 楽 者
招 詞	ヨエル 2 : 12 ~ 13a	司 式 者
讃 美 歌	3 0 0 「十字架のもとに」	一 同
聖 書	マタイ 1 7 : 1 ~ 1 3 (新 P. 32)	司 式 者
使徒信条	( 9 3 - 4 - A )	一 同
祈 禱		司 式 者
讃 美 歌	2 8 5 「高き山の上」	一 同
説 教	「仮小屋を建てる意味」	司 式 者
祈 禱		”
讃 美 歌	5 6 6 「むくいを望まで」	一 同
CSスタッフ・プレイルーム職員・幼稚園職員・幼稚園運営委員任職式		
讃 美 歌	5 1 5 「きみのたまものと」	一 同
献 金		”
主の祈り	( 9 3 - 5 - A )	”
頌 栄	2 7 「父・子・聖霊の」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
報 告	～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告		司 式 者
讃 美 歌	9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「砕かれて完成する」

(マタイ 16 : 13 ~ 28)

「あなたはメシア、生ける神の子です」と告白したペトロは、主イエスから「あなたは幸いだ」「あなたはペトロ (岩の意)。わたしはこの岩 (ペトロ) の上にわたしの教会を建てる」(18 節)、「わたしはあなたに天の国の鍵を授ける」(19 節)と言われるが、そのすぐ後には「サタン、引き下がれ」と厳しく叱られている (23 節)。サタン呼ばわりされて、ペトロは深く落ち込んだことであろうが、彼が落ち込んだのはこれ一度限りのことではない。主イエスが捕らえられた時に我が身可愛さから逃げ出した時も、大祭司の館で主を三度にわたって否んだ時も、彼は自分の弱さ、情けなさに深く落ち込んだに違いない。今日の聖書の箇所前半部分におけるペトロの信仰は「岩」という名にふさわしいものであったが、後半部分では岩とはかけはなれたものであったと言えよう。

ところで、聖書に登場する「岩」という語には、二種類の言葉が使われている。「揺るがぬ大岩」を意味する語と、打てば砕ける一般的な岩を言い表す語の二つだ。前者は「救いの岩」等と神を岩にたとえる場合に使われ、後者は頑なで傲慢な、打ち砕かれるべき人物を岩にたとえる場合にも使われる (エレミヤ 23:29)。ペトロという岩は、後者の岩であったが、打ち砕かれつつ、たえず悔い改め続けた岩がペトロであったとも言えよう。そして、そのような存在の上に、教会は建てられているのだ。

「打ち砕かれる」とは、痛みを伴う。その意味では、ペトロは何度も痛い目をみた。しかし、そのように、主イエスの言葉によって打ち砕かれながら、我々の信仰は形作られて行くのではないだろうか？ その痛みを通して、我々の「十字架を背負う道」は切り開かれて行くのではなかろうか？ 今日、我々は「サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている」「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」との御言葉を神からいただいた。それ故、我々は、この御言葉にその身を砕かれつつ、悔いて十字架を背負う道へと歩み出して行こう。